

# THE STUDY

## 日扇会院内勉強会報告

発行 2011年 10月 創刊号

発行者 看護部勉強会委員

### 危険予知トモエニダグKYT

日常生活の中の危険予知、もしも事故を想定し学習する勉強会ではまず病院内の強会ではまず病院内のいくつかの場所を撮影しました。その写真の中で、どのような事故が隠れていました。



考えてみて。どこが危険なの？

★常に先を見越して危険因子を意識しながら行動する。  
★危険因子は日常生活に隠れていることを念頭に置いておく。

まめ!

### 大逆転の認知症ケア

認知症患者さんのケアについての著書「大逆転の認知症ケア」の作者である和田行男先生を講師にお迎えして、講義を行いました。実際の現場での生の話を聞いて、あっとい間の3時間でした。他の視点から見た認知症のとうえ方や意見は参考になりました。今まで過してきた生活背景を考慮する必要があるより認知症の患者さんへの理解が深まるものでした。

### ちゅも!



認知症という枠にとらわれず、個人として尊重することが大切

キネステティクとは？ドイツの看護に取り入れられている新たな介助方法です。患者さんの自然な動きに合わせて足りない所だけを補助する介助方法です。患者さんの動きの流れを



カマカセにやらす、体の動線に沿って楽になる

理解し、体の重心をまもって流れに沿って介助します。見学し、実践してみると、コツをつかむまでは大変そうでしたが、徐々に慣れてくると参加者の方々は力を入れずに楽に介助される介助ができることを体験できました。実際には患者さんの協力を得ながら行う為、患者さんの条件が限られてしまいがちですが、当院で取り入れることは難しいです。しかし、今回新たな知識を得て体験することが出来たので良かったのではないかと思います。

今年度の勉強会	実施内容	参加率
トランス (1月24日 2月7日)	11月未定(看護師のみ 限定参加)	88%
褥瘡 (4月18日)	9月未定(テルモさん)	63%
嚥下 (8月22日)	KYT (9月27日)	77%
	認知症 (10月22日)	60%

### 良い例



### 悪い例



食べたい食事をも口から

### 褥瘡予防

今回は、モルテンの方を講師に招き、ポジショニングの効果について体験を通して学んでいきました。

### ポイント

★ハットの背上げ時は、背抜き足抜きをする。★グッションの入れ方の基本は、マットレストと体のすき間を埋める。

### 摂食・嚥下

いつまでも食べ続けられるために私たちができることというテーマで勉強会を行いました。まずは、当院の栄養士から、講義を受けた。その後、実際に食べてみるという体験を行いました。

### モルテンマットレス使用

シヨニングのあり方も学ぶことが出来、日々のケアに繋げることができました。

新入りの... 小林さん... 神保さん... 高木さん... 長井さん... 小泉さん... 山田さん... 野崎さん... 瀬川さん... 瀧川師長